

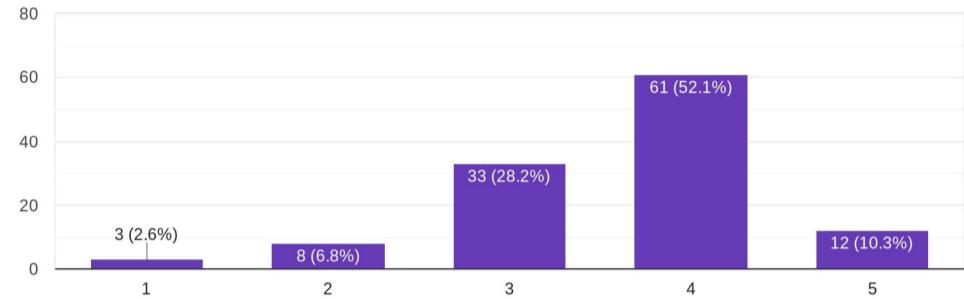
# 主体性を育成する避難訓練とは

宮城県仙台第三高等学校 普通科ー44班

## 1. 背景と目的

今の避難訓練を見ると教員主体の避難訓練になっていると感じた。

4.避難訓練にどのくらい意欲的に取り組んでいますか?(5が最も意欲的)  
117件の回答



・グラフで見ると意欲的に取り組んでいる生徒は多く見られるが、**自ら**意欲を持って取り組んでいるとは考えにくい。

→前年度前期避難訓練の様子を動画で撮影したところ、少數は真面目に取り組んでいたが、大多数は真面目に取り組んでるとは言いにくい状況だった。

・全生徒に共通して完全に受け身ということが見られる。

⇒実際に地震が起きたときに素早く避難するには**生徒の主体性**が必要である。

⇒「**生徒の主体性を育成する避難訓練**」とはどんなものだろうか。

## 2. 前年度の避難訓練の結果と考察

### 【前期避難訓練】

- ・安否確認
- ・避難経路の確認
- ・非常放送(サイレン)
- ・各自身の安全の確保

### 【後期避難訓練】

- ・非常放送(サイレン)
- ・火災発生→防火扉の閉鎖
- ・避難経路に障害物設置
- ・体育館への避難

### [良かった点]

- ・数名だが正しく机の中に潜っている人がいた
- ・体育館には速やかに行動できていた
- ・口を覆っている人が多かった

### [改善点]

- ・非常放送の音が聞こえづらかった
- ・緊迫感が見られなかった
- ・話し声が絶えなかった
- ・防火扉の前でふざける人がいた
- ・クラスや場所によってできている人とできていない人に差があった



緊迫感・緊張感のある避難訓練を実施したい  
生徒が主体的に動けるような状況を作りたい  
→生徒にどんな行動をしてほしいのか明確にして伝える

## 参考文献

<https://core.ac.uk/download/pdf/198554604.pdf> 和歌山県北部の児童・生徒・学生に行った防災教育意識調査

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/kaihatu/006/shiryo/attach/1367196.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/kaihatu/006/shiryo/attach/1367196.htm) 文部科学省HPより現在の防災における課題

## 3. 提案する避難訓練案

### 事前準備

- ・地震や火災が発生した場合についての動画
- ・ガラスと見せかけたペットボトルの欠片

### 避難訓練当日

#### <前提>

- ・生徒に地震がいつ来るか知らせない！！！
- ・緊迫感のある避難訓練にする！！

#### <実際の流れ>



避難訓練を行う前の**休み時間**に  
緊急地震速報で地震の発生を告知  
→各自で身の安全を守る

地震による火災の発生を告知し  
防火扉を閉鎖する

生徒避難開始

- ・危険な場所を避けて適切な避難経路を選べるか
- ・防火扉を通っても大丈夫か考えたうえで正しく扉を通れるか
- ・通路上にある割れたガラスに対して正しい行動を取れるか
- ・生徒が1つの経路に固まらないか



生徒避難完了

## 4.まとめ

- ・実際の災害時に必要となる**主体性を育成する避難訓練案**を考案した。
- ・この訓練案では足りないところが多くある  
→放送機器が使えなくなった場合、放課後に災害が発生した場合、先生が指示を出せない場合など様々なケースを想定した内容をさらに加えられると良かった。
- ・今後の三高の避難訓練をより高めるために引き継いでいきたい。

